

# ニュースレター

No. 3  
2018.9



## 市民の誰もが安心して暮らせる国分寺市をつくりたい。

このニュースレターは、さまざまな分野の地域課題を共有し、一つひとつの解決に向け、連携して取り組んでいく、自立支援協議会の報告をお届けするものです。平成30年度の自立支援協議会のテーマは、「地域で共に“笑顔”で暮らせるまちづくり 地域とのつながりを意識した有機的なネットワークの構築」です。さまざまな分野の関係機関や事業者がつながり合い「顔の見える関係」から「信頼し合える関係」づくりを目指していきます。

## 障害のある人が暮らす豊かなまち

池原毅和 弁護士

日本の自殺死亡率は世界ワースト6位で、15歳から34歳の自殺死亡率は事故による死亡率の2.5倍を超え、先進7カ国で自殺死が事故死を上回っているのは日本だけだという。自殺者数は減少傾向にあるとはいえ、それでも年間約22,000人の人が自殺で命を落としている。自殺の背景には何かがあるのか。自殺が少ない地域の特色を調べた研究（岡 檀・著『生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由がある』2013年）がある。その研究でわかったことは、自殺の少ない地域の地勢的な特色は、長い海岸線のある地域や島という点だが、そこに住む人々の特色は、均質性を嫌うという点がみられたという。一人ひとりが違うことをだいにすること、多様性を尊重するという気風が、自殺希少地域の共通属性になっている。違う人へのけ者にしてしまう社会は、のけ者にされる人を虐げるだけでなく、実はのけ者にされていない人にも、見えない同調圧力がかかっている社会である。自然な人間の姿は、心も体もさまざまな個性や特徴を持っているものなのに、それをひた隠しにして、他人と同じようなふりをしなければならないという心理的圧力が、世界有数の自殺大国の背景にあるのかもしれない。

障害者権利条約は、人間の差異を尊重すること、人間の多様性を尊重することを大原則にしている[3条(d)]。そして、「障害者が地域社会における全般的な福祉及び多様性に対して既に貴重な貢献をしており、又は貴重な貢献をし得ることを認め」なければならないとしている[前文(m)]。駅にエレベーターがあると車いすを使っている人だけでなく、大きなスーツケースを持った旅行者も、ベビーカーの子連れで買い物に出かけたご夫婦も移動が容易になる。精神障害のある人が、過剰なストレスを受けないで仕事ができるような職場は、それ以外の職員のストレスも少なく、過労死などが起こらない職場になる。お互いの違いに対応しあい工夫しあうこと、自分と人が違うことに気づいて、人間のさまざまな生き方に対する想像力を豊かに膨らませることは、自分の生き方を広げ、自分自身を強く豊かにすることでもある。それはいつも他人と同じであろうとして、世間の人たちに置いてきぼりにされないように、あくせく生きていく生き方とは正反対の生き方である。

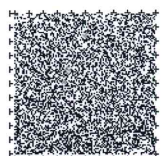
いろんな人が仲間になっている地域とは、どんな地域だろうか。障害者権利条約は、人はどこで誰と住むかを定める権利を持っていないなければならないという[19条]。ある一部の人が他の人と違っているからといって、その人たちだけ特定の場所に住むように指定するようなことをすれば、その地域の多様性は失われ、均質化と同調圧力を高めて、生き心地の悪い地域社会、自殺率の高い地域社会をつくっていくことになってしまう。

一人ひとりの違いを人間性豊かな地域の資源として、人間の多様性を積極的に開花させていくことが、生き心地がよく幸福度の高い地域のもとになる。



—プロフィール—  
いけはら・よしかず

1956年生まれ。1987年4月に弁護士登録。東京アドヴォカシー法律事務所主宰、早稲田大学法科大学院客員教授、元立教大学福祉学部講師。『精神障害法』（三省堂）、『精神保健福祉の法律相談ハンドブック』（新日本法規出版）、共著に、『障害法』（成文堂）、『心神喪失者等医療観察法解説』（三省堂）、ほか多数。また、東京都北区で、サクラティーズ、あすか子ども食堂、グループホーム等、各種活動を展開している。





## 各専門部会より、最新レポート！

◆国分寺市障害者地域自立支援協議会の3部会員より、各専門部会の進捗状況をお届けします。

◆専門部会は、専門分野ごとに、各メンバーと検討・協議を重ね、自立支援協議会の全体会に報告する役割を担っています。

### 相談支援部会部会員 長谷部豊子

国分寺市民生委員・児童委員協議会 主任児童委員(8月末の退任に伴い、部会員も退任)

市内の民生委員・児童委員(79名/主任児童委員6名含)は、地域での生活や暮らし、児童・高齢者や障害者より福祉に関する相談を受け(守秘義務あり)、各関係機関や行政等窓口へつなぐ活動をしています。“地域で共に「笑顔」で暮らせるまちづくり”が、民生委員・児童委員の願いでもあり、熱中症予防に高齢者宅を訪問するほか、地域イベントに協力するなど多様な活動を展開しています。また、主任児童委員は、子どもや子育て家庭の支援等、子どもにかかわる機関との連携を行っています。

相談支援部会でも、日頃から、支援者や家族が緊急時に備え準備をすることが大切であることを話し

合い、課題の一つとして、緊急時の対応等について検討を重ねています。

また、社会福祉サービスをわかりやすくみせるツールの作成を目指した、ツールワーキンググループでは、その冊子の対象を、子どもや子育て家庭に合わせ、発刊の作業を進めています。そして、相談支援専門員を中心とした計画相談ワーキンググループは、その名称を今年度から、「相談支援事業所連絡会」に変更し、相談支援事業所間で地域資源等の情報共有を行うなどの取り組みを今後も続けてまいります。



### 就労支援部会員 白瀬美弘 認定NPO法人Ohana 就労継続支援B型事業所 オハナ農園 施設長

就労継続支援B型事業所 オハナ農園で施設長を務める白瀬です。“Ohana”とは、ハワイ語で「家族」を意味します。どんな障害のある人でも、自分の住むまちで豊かに、一つの家族のようにまち全体で支え合い、暮らせるようにとの思いが込められています。

オハナ農園では、市内3カ所の花壇管理や公園清掃等の受注作業とGOOD BERRY CAFEとして、農園で栽培した野菜や果実を使ったパウンドケーキの生産・販売をしています。

就労支援部会では、これまで就労支援に関する地

域課題の掘り起こしや、地域の関係者が連携を強める仕組みづくり等について協議してきました。昨年度は、国分寺市の市政戦略室が進める「こくベジ」と連携し、地元農業者の人手不足解消と、障害者の働く場の確保や工賃向上という両方のニーズを満たせる仕組みづくりとして、「農福連携」の取り組みを進めてきました。オハナ農園では、農福連携の試行的な取り組みとして、週1回午前中に利用者と近隣農園に出向き、除草を中心とした農作業に参加し始めました。利用者によって仕事ぶりは異なりますが、広々とした農地で気持ちよく働くことができます。今後も就労支援部会で情報共有を図りながら、農福連携事業の推進役を担っていきたいと思っています。

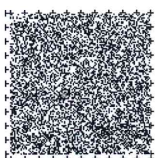
### 精神保健福祉部会員 板谷郁子 株式会社円グループ 訪問看護ステーション音 管理者

私たちは、「その人らしい豊かで多様な生活を応援します」を理念に、精神疾患をお持ちの方を中心に訪問看護を行っています。病気に伴う症状で生活のしづらさがあっても、その人らしく地域で安心して暮らしていけるよう、服薬や健康上の相談、生活の相談などの支援をしています。また、訪問看護では、ご自宅に看護師が定期的にお伺いしますので、

日常生活の様子やその方の生活力などもよくわかり、その方にとってどんなことが強みで、それを伸ばすにはどうしたらよいか、などと考えるのに役立ちます。しかし、訪問看護だけでは生活を支えられませんが、

医療と福祉の連携がとて重要になってきます。日々の訪問での情報は主治医だけでなく必要であれば、行政や福祉サービス担当者にも伝え、包括的な地域生活支援ができるように心がけています。

精神保健福祉部会では、行政、病院、福祉サービスの担当者が集まり、それぞれの立場で意見交換ができます。そういった意味では地域と福祉をつなぐ場として大変有意義な機会を持っていると思います。今後もこのような場を通して、私たち支援者が精神保健福祉の支援の力を高め合い、地域での包括的な支援を行っていければと考えています。





◆国分寺市障害者地域自立支援協議会委員の皆さまのご紹介です。

◆前号に続き、自立支援協議会に対する期待や希望を、一言ずつ語っていただきました。

**北邑和弘 社会福祉法人国分寺市社会福祉協議会 地域福祉係長、  
権利擁護センター長、自立生活サポートセンター長**

国分寺市社会福祉協議会(略称=社協)は、1966(昭和41)年に設立、1968(昭和43)年に社会福祉法人格を取得いたしました。基本理念である「みんなで支え合い 誰もが安心して暮らせるまち 国分寺」を目指して、生活の相談支援や各種サポートを行っています。主な事業として、市民の想いを地域の力にする「総務係」、育児の相互援助活動「ファミリー・サポート・センター」、ボランティア活動のきっかけづくりから活動のご相談までをサポートする「ボランティア活動センター」、生活困窮者の相談窓口「自立生活サポートセンター」、高齢者や障害者が自分らしく安心して暮らせるためのサポートをする「権利擁護センター」があります。

また、今年7月1日(日)に開催された「法人化50周年記念式典」では、法人化50周年を記念して誕生した、新 Mascot キャラクター「ふくすけ」を

お披露目させていただきました。「ふくすけ」には、『みんなの幸せ(幸福)のために地域でのたすけあいを応援すること、昔話「笠地蔵」のようにやさしさがみんなに伝わるように』という願いが込められています。キャラクターに込められた、この想いが皆さまに届き、お互いに支え合える地域となるよう期待しています。

自立支援協議会では委員の皆さまと連携を図り、地域の課題解決に向けて協働して取り組んでいきたいと思ひます。



**栗原玲子 保健師/東京都多摩立川保健所 保健対策課(地域保健担当) 課長代理**

多摩立川保健所では、住民の方の健康に関わるさまざまな業務を行っています。私が所属する地域保健担当では、精神保健、難病対策、重症心身障害者(児)などへの支援を行っています。

国分寺市の自立支援協議会では、日常の業務での経験をいかし、障害のある方が地域で安心してそれぞれの生活をおくっていくための地域づくりやネットワークの構築などについて、皆さまと一緒に考えていきたいと思っています。

**稲垣恵美子 国分寺難病の会 会長**

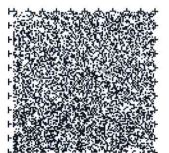
自立支援協議会では、それぞれの立場での活発な意見が出ます。支援機関の情報を共有し、協働しネットワークを育み、支援はステップアップしていくのだと期待しています。考えられない事件や事故のニュースが多くなり、支援もますます複雑に多様化しており、幅広い支援の研修が必要です。当会では、「難病者の医療と福祉をすすめる」を目標に活動しています。難病障害は進行性で、長期間の服薬、通院等、日々の暮らしの中で不自由さが増し、身体、知、心、言語など、障害はさまざまに現れます。難病障害を正しく理解する支援の研修を期待します。



**前田典人 国分寺市子ども家庭部子育て相談室長**

国分寺市子ども家庭部子育て相談室長の前田と申します。現在は、「こどもの発達センターつくしんぼ」と「子ども家庭支援センター」を管轄しております。つくしんぼには、平成6年に指導員として配属になり、園長を経て現在に至ります。つくしんぼは、平成27年度6月から相談支援事業所を新設、通園教室を市の単独事業から児童発達支援事業所へ移行しています。対象年齢が拡充し、利用ニーズが増加しています。

自立支援協議会は、さまざまな立場の方が構成員として参加されています。それぞれの視点から国分寺市の障害児・者の施策について、課題の抽出・解決に向けて一緒に取り組んでいければと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。





# 食彩工房プラスワンがスタート！！



2018年4月1日にオープンしました食彩工房プラスワンです。社会福祉法人けやきの杜が運営する、就労継続支援B型(定員40人)事業になります。利用者16名で開始し、現在20名になりました。本事業の創設において、国分寺市をはじめ、多くの方々のお力添えのもと開設することができました。あらためて、本誌面をお借りして御礼申し上げます。

食彩工房プラスワンは、これまで、法人内事業所にて培ってきた食材加工、製菓、製パン、製麺(うどん)の技術を一に結集し、衛生環境、機械設備を整え、安心・安全で真心のこもった食事を、地域から発信すること、利用者の方々には「働く！」ことを通して、「誇りと自信を持ってほしい」という願いがあります。

仕事の内容は、お弁当や朝食を調理し、障害者の通所施設やグループホーム、高齢者の小規模多機能型事業所にお届けする配食サービス部門と、製パン・製菓・製麺の2つの部門が稼働しています。

現在、冷凍・冷蔵車で運転手(支援員)と利用者1名で安全運転第一に、国分寺市、小平市、小金井市内を軽やかに♪美味しく、真心一杯の食事をお届けしています。ご用命は是非!!「食彩工房プラスワン」へ! 宜しくお願いします。

(社福) けやきの杜 食彩工房プラスワン 施設長 藤田典男

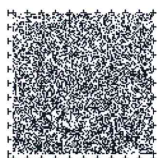
**店舗情報** ☎: 042-300-8050 Fax: 042-300-8051  
営業時間: 9時～16時 休日: 土・日・祝日

「私たちと一緒に働いてみませんか!」  
新規利用者の方、随時募集しています。



※管理栄養士のもと、栄養価のある安心・安全で真心のこもった食事を提供します。  
◆お弁当日替わり(昼): 1食 350円～ご相談に応じます。配達は5食より。  
◆JAむさし国分寺店で、各種製菓、うどん(細麺、太麺)2人前パック250円を販売しています。  
★「幸福切符」の発券: お弁当は希望園の販売所でお買い求めいただけます。予約のうえで、販売所にお越しいただくと、1食につき1枚発券し、5枚ためるとささやかですが、手づくりパン1つ(150円相当)と交換できます。

事務局編集部  
ろしくお願  
今後ともよ  
になりませ  
の恋ヶ窪駅  
武国分寺線  
寄り駅は、西  
の基幹相談支  
しました。最  
前号でお知らせした、本誌編集部事務局の基幹相談支援センターが、6月に移転いたしました。武国分寺線の恋ヶ窪駅寄り駅は、西武国分寺線になりました。今後ともよろしくお願  
事務局編集部



# こくぶんじのランチタイム

## (社福) ななえの里 ともしび工房

ともしび工房直売店  
(イトインあり)  
国分寺市西恋ヶ窪 4-10-2  
月～金曜 10:00～15:00  
電話 042-324-7071



溶岩パンとおいしいお菓子 Color のパンが買えるところ↑

## 〈出張販売〉

本多公民館(売店)	火・水	11:00 頃
ひかり公民館	火	11:00 頃
けやきスポーツセンター	水	11:00 頃
いずみプラザ	水	12:00 頃
西町地域センター	木	11:00 頃
福祉センター	金	11:00 頃
国分寺市役所駐車場	金	12:00 頃

## (社福) 万葉の里 喫茶いずみ

国分寺市泉町 2-3-8 国分寺市障害者センター 1F  
電話 042-321-1212  
営業時間 11:00～15:30 定休日 土曜・日曜・祝日



★定食が人気!!

## NPO 法人国障連喫茶運営 喫茶ほんだ・喫茶こだま

喫茶ほんだ ※両館内のお弁当配達承ります(要相談)。  
国分寺市本多 1-7-1 本多公民館内 電話 042-326-2246  
営業時間 10:00～17:00 月～土曜(休館日: 第1・3月曜)

## 喫茶こだま

国分寺市光町 1-46-8 ひかりプラザ内 電話 042-571-0071  
営業時間 10:00～16:00(土曜～15:00) 月～土曜(休館日: 第2・4月曜)



# 2018年度10月～12月 障害福祉関係カレンダー

		イベント・タイトル、開催場所、時間【主催】
10月	13日(土)	講演会「知っておきたい成年後見制度!」 講師: 山崎政俊氏(司法書士) 国分寺市役所第1・第2委員会室、14:00～16:00 [国分寺市社協、権利擁護センターこくぶんじ]
	13日(土)	ぶんちゅまつり 10:00～15:00 [子ども家庭支援センターぶんちゅ]
	14日(日)	第3回AnnBee祭 けん玉ワークショップ同時開催! 史跡公園 武蔵国分寺跡、 10:00～16:00
	21日(日)	第16回はばたけ!! サンサンゆめまつり 国分寺市障害者センター、10:30～14:30 [万葉の里]
11月	4日(日)	第35回国分寺まつり、都立武蔵国分寺公園、9:30～15:30 [同実行委員会]
	10日(土)	国分寺市運動会・お楽しみ会、国分寺市民スポーツセンター、 10:00～14:30 [国障連]
	10日(土)	国分寺市いじめ虐待防止条例 市民向け講演会「思春期の子供の理解と関わり(仮)」 10:00～12:00、養育家庭体験発表、14:00～16:00、 cocobunji プラザ リオンホール [子ども家庭支援センター]
	18日(日)	講演会「虹色の個性から見る みんなが笑顔の接し方」 講師: 星山麻木氏(明星大教授)、[子どもの発達センターつくしんぼ] 本多公民館 2階 ホール、10:00～12:00
18日(日)	第32回精神保健福祉講座 精神保健福祉の黎明期 映画「夜明け前」上映会 講演: 藤井克徳氏(きょうされん専務理事)、本多公民館 2階 ホール、 13:50～17:10 [はらからの家福祉会、万葉の里]	
12月	8日(土)	障害者週間行事(福祉を進める会)cocobunji プラザ リオンホール、セミナールーム、 13:00～15:30

# 国分寺市障害者地域自立支援協議会(全体会)と各専門部会は、どなたでも傍聴できます。

第2回全体会	2018年10月23日(火) 15:00～	国分寺市役所
第3回全体会	2019年3月28日(木) 13:30～	国分寺市役所

※日程等は変更する場合があります。詳しくは、協議会事務局へお問い合わせください。市HPからも確認できます。

# 編集後記

8月末に、東京都自立支援協議会主催の「地域自立支援協議会交流会」が開催されました。今年は一協議会であがった課題はどこに行ってしまうのかをテーマに、36市区町の協議会委員や事務局の方が集い、熱い意見を交わしました。全体会の形骸化が指摘される一方、各部署の熱心な活動が報告されました。国分寺市の自立支援協議会は、平成18年度に設置され、平成28年度に改編後、各部署とともに、有機的なネットワークが構築されています。今後も、委員の方々が協議会に参加してよかつたと思える開催を目指し、「地域で共に、笑顔」で暮らせるまちづくりに向けた活動を積み重ねていけたらと思います。

# 発行

国分寺市障害者地域自立支援協議会ニュースレター  
平成30年(2018年)9月発行  
発行: 国分寺市障害者地域自立支援協議会  
編集: 国分寺市障害者地域自立支援協議会 事務局

国分寺市福祉部障害福祉課  
〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1  
☎: 042-325-0111 FAX: 042-324-6831

国分寺市障害者基幹相談支援センター  
〒185-0002 東京都国分寺市東戸倉2-7-26 KOCO・シヤム 2階  
☎: 042-320-1300 FAX: 042-313-8823

印刷: 社会福祉法人東京コロニー